

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	中学校ALT配置事業			会計	款	項目	大事	小事	
				01	10	01	04	02	61
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	指導課				
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実			主管課長	濱崎 祐子			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内中学校全生徒	意図	言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成し、聞く、話す、読む、書くという4つの技能をバランスよく育成する。
事業内容	ネイティブの外国語指導助手を全校に配置する。職務内容としては、①中学校における英語指導の補助 ②英語科学習指導案、及び教材作成補助 ③英語科教員との指導法に関する協議、研修 ④特別活動及び課外活動への協力 ⑤英語スピーチコンテストへの指導 ⑥その他所属長が必要と認める職務など、日常的に外国語に接することができるような環境を整える。			
事業開始から現在までの状況変化	平成22年度までは各中学校へのALT配置を、業者との派遣契約で実施してきた。平成23年度からはALT4名を、平成24年度からは8名を市が直接雇用し、各中学校に1名ずつの配置とした。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
指標	① ALT指導日数	1,600	1,600	1,754	日	↑↑↑	一人あたりの指導日数の合計
	②						
	③						
	④						
指標で表すことができない定性的な成果	ALTの指導時間が増加することで、良質なインプットの機会が増え、英語や外国の文化への興味関心をさらに高めることができた。				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 平成24年度より、中学校新学習指導要領が全面実施となった。ALTを全校配置したことで、ネイティブスピーカーと日常的に接する環境ができ、各学校の計画に従って、年間を通じたティームティーチングを行えた。		
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		32,665,010	32,562,627	33,908,000			
事業費(b)(円)		32,665,010	32,562,627	33,908,000			
うち一般財源		32,665,010	32,562,627	33,908,000			
職員給与費(c)(円)							
人役・職員(人)							
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	ALTによる指導をより一層充実させる。	③取り組みの課題	外国人(ALT)と日常的に接する環境は整ったが、ALTの指導力向上を図る研修の実施が望まれる。
②今年度(H26)に実施した取り組み	ALT8名を、全校中学校に配置した。英語の授業だけでなく、日常的にネイティブスピーカーと接する環境を整えた。	④今後の改善計画	各学校間で情報交換をするなど、ALTの指導力向上を図る。